

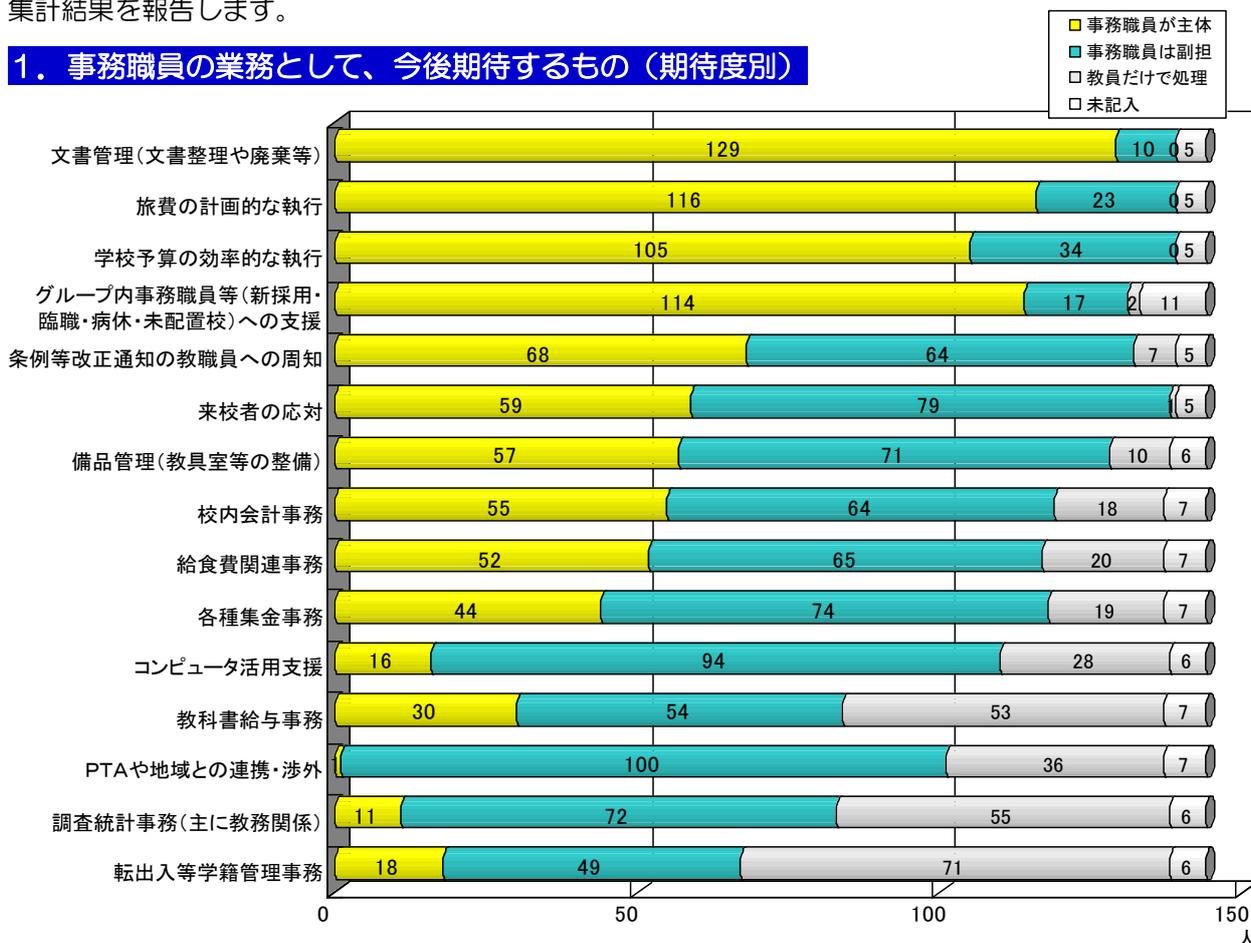
# 事務のグループ制に関するアンケートの集計結果

～校長先生・教頭先生 144 人に聞きました～

平成 15 年 8 月より実施されている事務のグループ制は、学校事務の効率化・高度化を図り、きめ細かな学習指導の支援（教職員が児童生徒とふれ合う時間の確保）に資することを目的に、県内に先駆け八戸市教育委員会の所管で行っています。

先般、グループ制のあり方について、八戸市内の校長先生・教頭先生からご意見を伺いました。その集計結果を報告します。

## 1. 事務職員の業務として、今後期待するもの（期待度別）



※上記にあげた業務以外で期待するものとして

- 学校への苦情の受付
- 電話・来客への対応
- 対外事務
- 金銭に関するもの
- 学校教育活動（行事等）への支援
- 教育現場に勤める職員として教育的な配慮にたった業務
- 日常の細かな業務に目を配るだけでも教員の負担が減る
- 未配置校支援は事務支援室がやるべき
- 提出物の×切等のチェック
- 施設設備に関すること

## 2. 事務のグループ制についての感想や意見など

### ◆学校事務の適正化・効率化・高度化

- ・学校における事務職員は、来校者や業者の窓口であったり教員の裏方の役目を行ったりと、一般事務とは異なることから、グループ制で資質の向上を図ったり、情報交換等で適切な業務処理を行ったりすることは、意義や効果があると思う。
- ・新システム導入や条例等の改正時、共有化ができて学校間の差がないようにしてくれる。
- ・書類形式の統一により、どこでも同じであることのよさがある。

- 校長、教頭、教務との連携を充実していくことが課題。
- 先生方が学習活動に十分時間をかけることができるような体制づくり、学校教育の推進に貢献できるシステムへステップアップすることが望ましい。
- 学校の規模によって事務量も違うので、小規模校が大規模校を手伝うような業務上の互助の働き。
- 相互の事務処理（他校のもの）について、従来は当該校だけで充分だったものをわざわざグループ制で行う必要性はないと思う。その分、本校のものを精査する時間にあててほしい。
- 実務の効率化だけでは本当の意味での効率化の成果は見えてこない。意識改革の啓発が一番大変。

#### ◆未配置校・新採用・病休者等支援

- 初任者や経験の浅い事務職員にとって、スキルアップ・研修の場となり、業務の流れがスムーズになり有効性がある。継続をお願いしたい。
- 未配置校では特に旅費請求書作成に関し全面的な支援を受け、教頭としての職務が遂行できている。
- 未配置校には定期的な訪問支援をお願いしたい。また、各グループの足なみを揃えてほしい。
- 事務が引き上げられた場合、財務・旅費関係などの協力体制ができていると少し安心。

#### ◆学校運営への参画・教育活動へのサポート（教育環境の整備）

- 学校規模により現状での事務職員へのニーズは異なる点が多いと思う。教科書給与・給食事務は教員の事務軽減につながる。
- 学校で一番激務な教頭へのサポート。
- よりきめ細かな教育の情報化への支援。
- 事務職員の予算や事務処理の視点からの発言は、教員にとっては視野を広げるきっかけとなり、for the school の優しい心遣いは教職員の潤滑油となる。
- 同じ学校の職員として学校運営（教育課程の編成や校内研修など）でも、教員とは違う立場で力量を発揮していただければ、「より開かれた学校づくり」ができると思う。
- 何を行うことが支援になるか吟味が必要。備品管理、文書管理、テスト後のコンピュータ処理等々。
- 子どもの幸せを軸にした研修であってほしい。教員と同様に人格形成に関わる大人の一人として、学校内での勤務が望ましい。
- 事務の効率化により、教員の児童又は父母へ係わる時間を確保するという考え方にはたいへん期待する反面、教員の資質低下にならないか心配。



#### ◆グループ制の制度や運営、その他

- 小・中規模校では、出張により職員室が空になることがあるので、グループ研修日を精選してもらえると学校運営上助かる。グループ制の効果は認めるものの、月1回程度にできないか。
- 会合のスリム化・時間革命・内容の充実、ITを活用した情報交換等、検討の余地はたくさんある。
- 学校現場では「グループ制」について周知不足であり、取り組んでいる内容等周知の徹底を図ることが重要。（事務だよりの発行・資料の提供・情報の提供等）
- 単に事務的な仕事ばかりではなく、その人間性は学校の玄関口の「顔」として重要さを増している。
- 事務職員が忙しくならないよう十分な配慮をお願いする。
- 情報セキュリティのガイドラインの市内統一。個人のプライバシーとなる情報を共有した時の対応。



「学校のため、事務職員は何をやっていけばいいのだろう。教育活動への支援とは？学校運営への参画とは？」グループ制開始から5年間、主に事務職員の中で考えてきましたが、アンケートを通して、まず、今ある仕事をきちっとこなすことが大事であると再認識しました。

今年度は、定例会の持ち方について、普段の定例会の回数を少なくして夏休みに集中して書類のチェックをしたり、全グループが一同に集まって情報を共有しグループ定例会の効率化を図るなど、工夫も見られます。

文書分類表の改正・旅費の条例改正など、変革は続いています。今後ともこの流れに遅れることなく、先生方や子どもたちのため、グループ制を活用して情報交換を行い、それぞれが学校で情報発信をしていきたいと思えます。